

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを求める意見書について

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引上げを求めることに関して、別紙のとおり意見書案を提出する。

令和6年6月21日

旭川市議会
議長 福居 秀雄 様

提出者 旭川市議会議員

中 村 みなこ

まじま 隆 英

石 川 厚 子

能登谷 繁

物価上昇に見合う老齢基礎年金等の上げを求める意見書

厚生労働省は、2013年以来11年間で物価が8.1パーセント上昇する中、年金支給率は0.8パーセントの上昇で、差引き7.3パーセントを減額する改定を行った。2023年度も物価が2.5パーセント上昇する中、年金は1.9パーセントの上げにとどまり、実質0.6パーセントの削減となった。

この間に、消費税率が5パーセントから10パーセントに引き上げられ、一部の後期高齢者医療費窓口負担が2割に増え、介護保険料の上げが年金減額改定の中、実施された。

物価上昇が家計を圧迫し、食費さえ切り詰め、北海道では暖房費を節約するため寒い部屋で過ごしている高齢者も少なくない。そのため、年金だけでは生活を支えきれず、生活保護に移行する例が増えており、生活保護世帯全体の55.5パーセントを高齢者が占めるまでに至っている。特に深刻なのは女性の低年金で、女性の年金生活者の85パーセントが月額10万円以下で生活していることである。

よって、国においては、当面、高齢者の危機的状況を早急に改善するとともに、国民が安心して老後を暮らせるようにするため、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額上げを実現するよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

旭川市議会